

Klub Zukunft 春の散策会 (世界遺産 京都・宇治の春の散策)

① 日時 : 2023年4月1日(土) 10:00~16:30頃

② 集合 : JR奈良線 宇治駅前 10時集合

③ スケジュール

JR 宇治駅～縣神社～塔の島～先陣の碑～朝霧橋～興聖寺～朝日山～仏徳山～昼食～
宇治上神社～宇治神社～宇治橋～平等院～JR 宇治駅～JR 稲荷駅～石峯寺(石峰寺)～
伏見稲荷大社～京阪伏見稲荷駅 or JR 稲荷駅

所要時間 約 6.5 時間 歩く距離 約 10km

<JR 大阪駅、JR 京都駅 から>

大阪駅 8:30 → 8:59 京都駅 9:09 → JR 宇治駅 9:34

<京阪 京橋駅 から>

京阪京橋駅 8:54 → 9:23 中書島駅 9:26 → 9:41 京阪宇治駅→徒歩→9:51 JR 宇治駅

④ 参加費 500 円(傷害保険代として)

⑤ 費用

JR 大阪駅～JR 宇治駅 片道 990 円

京阪京橋駅～京阪宇治駅 片道 410 円

京阪伏見稲荷駅～JR 大阪駅 片道 570 円

興聖寺拝観料 500 円

平等院拝観料 600 円

石峯寺(石峰寺) 拝観料 300 円

⑥ 申し込み締め切り 2023年3月20日(月)

※参加希望者は傷害保険加入の為、氏名、住所、電話番号、生年月日の情報を添えて申込みを
お願いいたします。尚このデータは他には一切使用いたしません。

⑦ 持ち物等

- ・ハイキングが出来る服装
- ・昼食(お弁当等)
- ・飲み物

⑧ その他お願い事項

- ・コロナ感染拡大防止の為にマスクの着用をお願いいたします。
尚 微熱のある方や風邪気味の方はご遠慮ください。
- ・コロナ感染拡大防止の為に一部の施設の見学が中止されている場合があります。
- ・前日 PM6 時の NHK の天気予報で目的地の降水確率が 50%以上の場合は中止とします。

⑨ 担当 今中

■平等院(国宝)…世界遺産

世界遺産の平等院(びょうどういん)は、1052(永承7)年関白藤原頼通による開基と伝えられる。御本尊は、阿弥陀如来です。阿弥陀堂中堂を中心に左右に伸びる翼廊と尾廊から構成され、その形が鳳凰に似ている事から鳳凰堂とよばれる様になった。

■縣神社

祭神は木花開耶姫(このはなさくやひめ)で平等院建立時にはその鎮守となったとも伝えられています。毎年6月5日から6日の未明にかけての縣祭りは「暗夜の奇祭」といわれ宇治を代表する祭りです。

■十三重石塔 「塔の島」内

府立宇治公園中の島(塔の島)にある高さ約15mの国内最大級の石塔で、1286年に西大寺の僧叡尊により建立されました。叡尊は朝廷の命により宇治橋の修復を行いました。殺生禁断の思想の持ち主で、網代や漁具を埋め、その上にこの石塔を建立し、魚霊の供養と宇治橋の安全を祈りました。

■先陣の碑

1183年(寿永2年)7月28日、数万騎を率いて入洛した木曾義仲。

しかし、皇位継承を巡って後白河法皇と対立し、統制がとれていない軍は京で乱暴狼藉を繰り返した。

9月19日、後白河法皇は義仲に平氏追討を命じ西国へ出陣させると、10月14日には鎌倉の源頼朝に東海・東山道の支配権を与え(寿永二年十月宣旨)、上洛を促した。

11月4日、頼朝の弟源義経が近江国にまで進軍。

一方の義仲は11月19日、法住寺殿を焼き討ちし後白河法皇を幽閉した。

翌年1月20日、頼朝は近江国まで進軍させていた源範頼・義経の弟たちに義仲追討を命じ、範頼が瀬田を、義経が宇治を攻撃した。

義経は「宇治川の戦い」で志田義広を破り入京。

敗走した義仲は近江国栗津で最期を遂げた。

■宇治神社

宇治橋の上流宇治川の右岸、この辺りは応神天皇の離宮(桐原日桁宮:きりはらひけたのみや)跡でもあり、皇子の菟道稚郎子命(うじのおきいらつこのみこと)の宮居の跡と伝えられており、菟道稚郎子命の死後にその神霊を祀ったのが、この神社の始まりです。本殿は鎌倉時代のもの。他に、木造狛犬や白色尉面など、貴重な文化財が伝わっています。

■宇治上神社(国宝)…世界遺産

世界遺産の宇治上神社(うじかみじんじゃ)は、かつて離宮上社と呼ばれ、離宮下社の宇治神社と共に2社1体とされていたが、明治時代に分離された。平安時代に建てられた本殿(国宝)は、現存する日本最古の神社建築です。三棟の内殿を横一列に並べ、覆屋(おおいや)で覆う。3内殿、左から右に、仁徳天皇(兄君)、応神天皇(父君)、菟道稚郎子(弟君)が祀られています。本殿前の拝殿も国宝に指定されています。桐原水は、宇治七名水の一つに数えられる。

■興聖寺

興聖寺は、道元によって深草に創建されたのが始まりとされる。1648(慶安元)年永井尚政が、荒廃していた興聖寺を深草から現在の地に移し、永井直勝と池田恒興をともらった。興聖寺へ続く琴坂を上がると山門があり、楼上には十六羅漢をまつ。唐風龍宮造りの山門(楼門)が印象的で、「曹洞宗初開道場」と掲げられている。山門まで続く参道「琴坂」は約200mあり、紅葉シーズン特に美しい。「春岸(しゅんがん)の山吹」「興聖の晩鐘」は宇治十二景に数えられる。

■伏見稲荷大社

伏見稲荷大社は、全国に約3万社ある稲荷神社の総本宮です。942年（天慶5）に最高位である正一位の神階を授かる。和銅4（711）年、秦氏の秦伊呂具（はたのいろぐ）が、稲荷山の三ヶ峰にそれぞれの神様を祀られたのが始まりとされる。

※『山城国風土記』の逸文では「イネが生った」ところより社名としたとあります。

※「稲荷大神様」のお使い（眷族）はきつねとされています。但し野山に居る狐ではなく、眷属様も大神様同様に我々の目には見えません。そのため白（透明）狐＝“びゃっこさん”とってあがめます。勿論「稲荷大神様」はきつねではありません。

※稲荷神社…狐、八幡神社…鳩、春日神社…鹿、日吉神社…猿、熊野神社…八咫鳥、

■石峯寺（石峰寺）

正徳3年（1713年）、黄檗宗大本山萬福寺の第6世千杲性佞（せんが いしょうあん）が開創した。石峯寺は平安時代中期に摂津国多田郷に建てられた沙羅連山石峰寺に発するという。兵火に遭い、寺は焼亡したが、本尊の薬師如来像は土中から慶長元年（1596年）に発見されたとされ、京都五条大橋東あたりの祠に祀られていた。この薬師如来を尊崇する千杲和尚が、正徳3年（1713年）にいまの深草の地に移したという。寺の境内裏山にある五百羅漢の石像群は、安永年間（1772年 - 1781年）から天明年間（1781年 - 1789年）にかけて絵師の伊藤若冲が下絵を描き、当寺の住職密山修大と協力して制作したもので、「若冲五百羅漢」としていまも親しまれている。当時は千体以上あったが、現在四百数十体が残っている。